

2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 2 月 7 日作成)

小委員会名	ユーザー・オリエンティド・デザイン小委員会	主 査 名：松田 雄二 就任年月：2016 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (計画基礎運営委員会)	委員長名：広田 直行 主 査 名：山田 哲弥
設 置 期 間	2018 年 4 月 ～ 2020 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>多様化する建築利用者 (ユーザー) のニーズを汲み取り、それを建築デザインへ反映させる手法の構築に向けた研究活動の実施を設置目的とする。</p> <p>初年度：書籍「利用者本位の建築デザイン」執筆・編集・刊行</p> <p>2 年度：公開研究会「『利用者本位の建築デザイン』とはなにか ―不確定な利用者ニーズに応えるハード・ソフトのカスタマイズ手法」の実施、多様化するユーザーニーズとそれに応えた建築に関する事例収集</p> <p>3 年度：公開研究会「『利用者本位の建築デザイン』とはなにか ―知的障害者の地域生活を支える居住環境」と関連した見学会の実施、多様化するユーザーニーズとそれに応えた建築に関する事例収集、合理的配慮に関する事例収集</p> <p>4 年度：公開研究会「『利用者本位の建築デザイン』とはなにか ―発達障害のある人々を支える建築デザイン」実施、多様化するユーザーニーズとそれに応えた建築に関する事例収集、合理的配慮に関する事例収集</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	主査：松田雄二 (東京大学) 幹事：田中賢 (日本大学)、石橋達勇 (北海学園大学) 委員：鈴木義弘 (大分大学)、富永哲雄 (和歌山大学)、西野亜希子 (東京大学)、原利明 (鹿島建設)、藤井容子 (香川大学)、山崎晋 (日本大学) 室崎千重 (奈良女子大学)、加藤悠介 (金城学院大学)、柳瀬亮太 (信州大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	ダイバーシティに向けた合理的配慮 WG:2013 年 6 月に定められた障害者差別解消法では、「社会的障壁をとりのぞくための合理的な配慮」をすることが求められている。本 WG では、ダイバーシティを実現するための具体的な建築的取組について検討することを目的としている。	
2019 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無

項 目	自己評価
委員会開催数	小委員会+WG 合同委員会 2 回
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	公開研究会「『利用者本位の建築デザイン』とはなにか ―発達障害のある人々を支える建築デザイン」(2020 年 2 月 22 日開催予定)
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 4 年間の活動の中で今後の検討課題として浮かび上がった発達障害への対応について、公開研究会を実施することができた。 2. 障害者差別解消法について、WG にて議論を深めることができた。
委員会活動の問題点・課題	委員会メンバーの所属が全国的に広がっているため、予算の制約のなかで頻繁な小委員会の開催が難しい。